

## 全体計画（案）について

- 1 - 地域日本語教育をめぐる国の動き
- 2 - 岡山県の現状と課題
- 3 - 事業内容

1

## 地域日本語教育をめぐる国の動き

# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

1

## 日本語教育の推進に関する法律（令和元年6月公布・施行）

### 目的（第一条関係）

（背景）日本語教育の推進は、

- ・我が国に居住する外国人が日常生活及び社会生活を国民と共に円滑に営むことができる環境の整備に資する
- ・我が国に対する諸外国の理解と関心を深める上で重要である



そこで、定義以下について定めることにより、

（目的）多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現・諸外国との交流の促進並びに友好関係の維持発展に寄与。

出典：「日本語教育に関する法律（概要）」抜粋（文化庁）

### 基本的施策（第十二条―第二十六条関係）

#### 国内における日本語教育の機会の拡充

- ・外国人等である**幼児、児童、生徒等**に対する日本語教育
- ・外国人**留学生等**に対する日本語教育
- ・外国人等の**被用者等**に対する日本語教育
- ・**難民**に対する日本語教育
- ・地域における日本語教育
- ・日本語教育についての国民の理解と関心の増進

#### 地方公共団体の施策

- ・地方公共団体は、国の施策を勘案し、地域の状況に応じた日本語教育の推進に必要な施策の実施に努める。

出典：「日本語教育に関する法律（概要）」抜粋（文化庁）

## 外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ（令和4年6月）

### 1 目指すべき外国人との共生社会のビジョン（三つのビジョン）

#### 安全・安心な社会

これからの日本社会を共につくる一員として外国人が包摂され、全ての人々が安全に安心して暮らすことができる社会

#### 多様性に富んだ 活力ある社会

様々な背景を持つ外国人を含む全ての人々が社会に参加し、能力を最大限に発揮できる、多様性に富んだ活力ある社会

#### 個人の尊厳と人権を 尊重した社会

外国人を含め、全ての人がお互いに個人の尊厳と人権を尊重し、差別や偏見なく暮らすことができる社会

### 2 取り組むべき中長期的な課題（四つの重点事項）

1 円滑なコミュニケーションと社会参加のための日本語教育等の取組

2 外国人に対する情報発信・外国人向けの相談体制の強化

3 ライフステージ・ライフサイクルに応じた支援

4 共生社会の基盤整備に向けた取組

# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

1

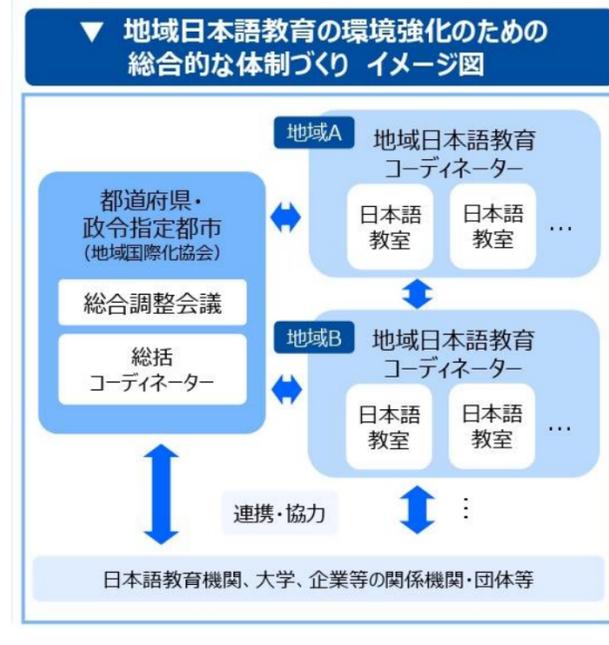
## 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（令和元年度～）

### 文化庁の補助事業（令和6年度から文部科学省へ移管）

都道府県・政令指定都市が、関係機関等と連携して行う日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要経費の一部を補助（補助率：2分の1）

#### 【補助対象事業】

- 総合調整会議の設置
  - 総括コーディネーターの配置
  - 地域日本語教育コーディネーターの配置
- など



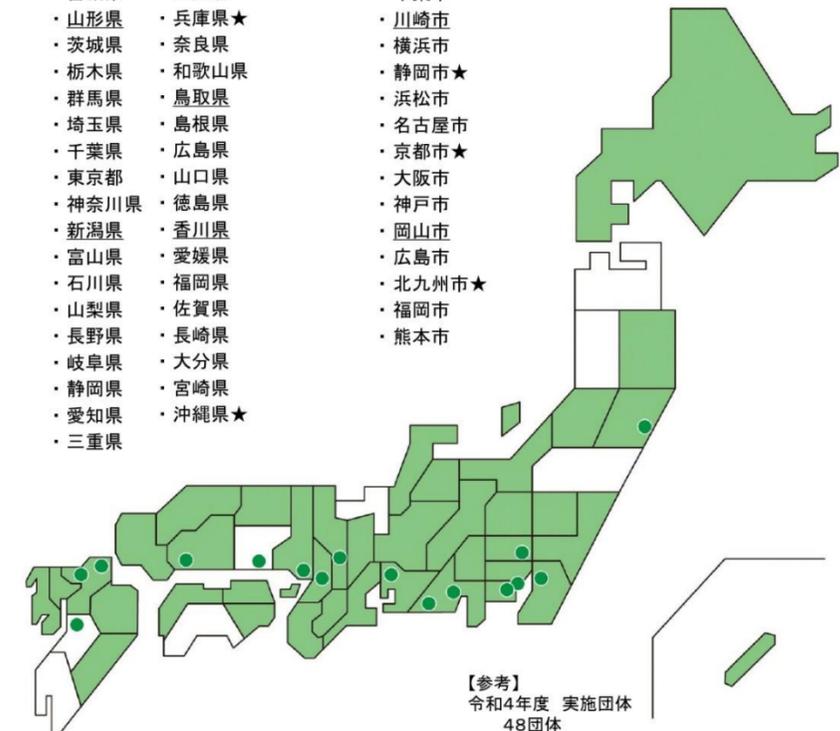
### 令和5年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 応募団体 所在地

#### 第1次応募(55団体)

- 都道府県 (39団体)**
- ・北海道
  - ・岩手県
  - ・宮城県
  - ・山形県
  - ・茨城県
  - ・栃木県
  - ・群馬県
  - ・埼玉県
  - ・千葉県
  - ・東京都
  - ・神奈川県
  - ・新潟県
  - ・富山県
  - ・石川県
  - ・山梨県
  - ・長野県
  - ・岐阜県
  - ・静岡県
  - ・愛知県
  - ・三重県

- 政令指定都市 (16団体)**
- ・仙台市★
  - ・さいたま市
  - ・千葉市
  - ・川崎市
  - ・横浜市
  - ・静岡市★
  - ・浜松市
  - ・名古屋市
  - ・京都市★
  - ・大阪市
  - ・神戸市
  - ・岡山市
  - ・広島市
  - ・北九州市★
  - ・福岡市
  - ・熊本市

★ : 地域国際化協会が応募  
下線付: 新規応募団体



【参考】  
令和4年度 実施団体 48団体  
令和3年度 実施団体 42団体  
令和2年度 実施団体 35団体  
令和元年度 実施団体 17団体

## 2

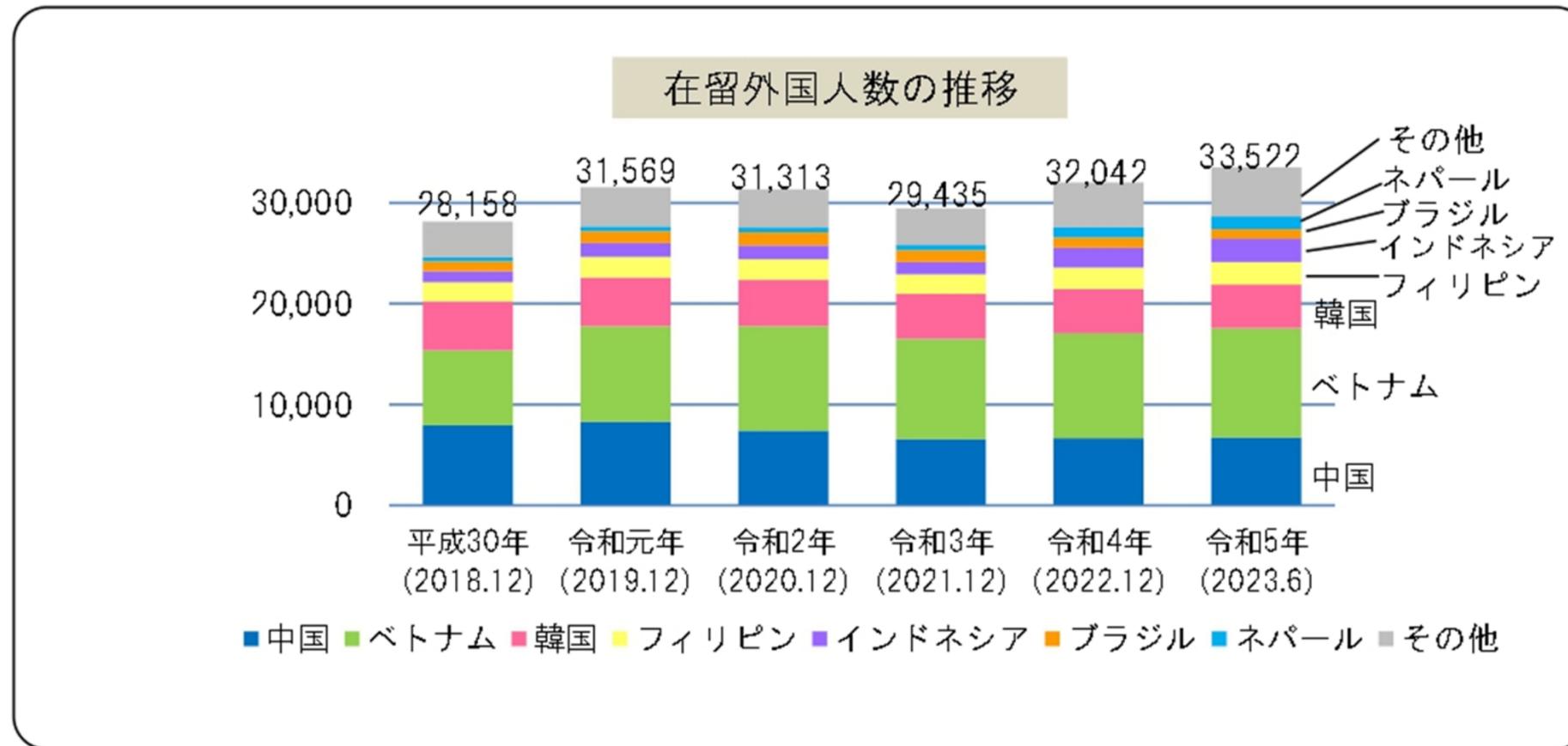
## 岡山県の現状と課題

---

---

### 県内の在留外国人の状況①

岡山県における在留外国人の状況（令和5(2023)年6月末）

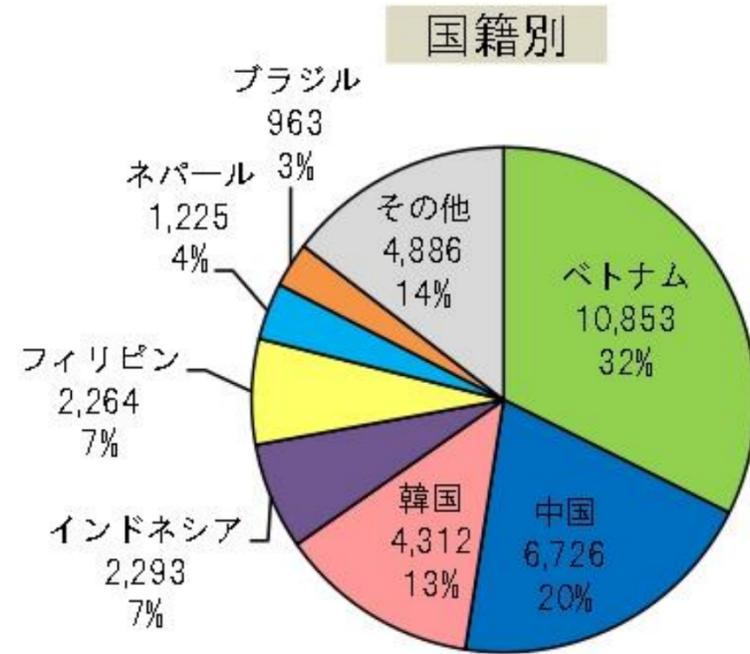


出典：法務省「在留外国人統計」（以下同じ）

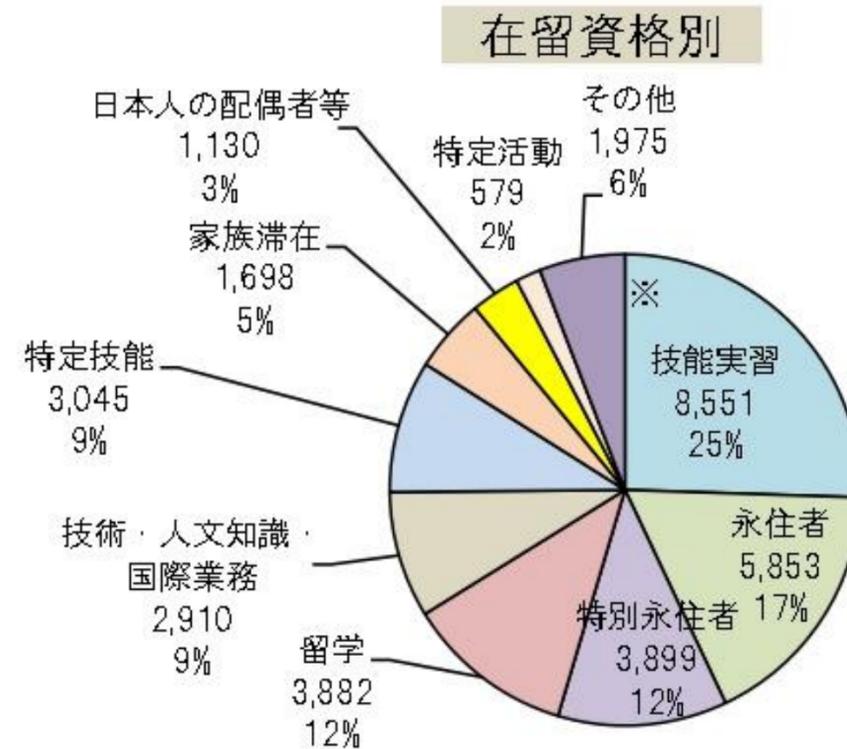
岡山県内の在留外国人数は、令和5(2023)年6月末現在 **33,522人**（全国総数3,223,858人の約1.0%）で、前年(2022年)末に比べ、1,480人増加し、過去最多となりました。

## 2

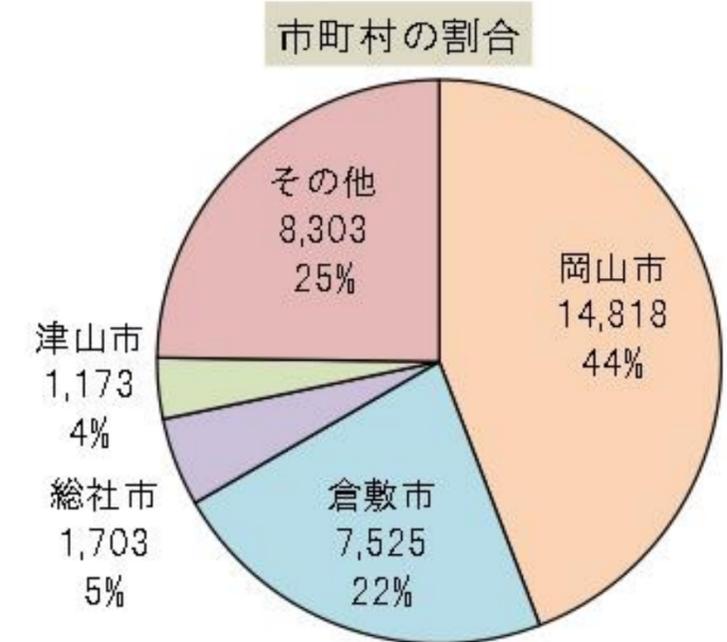
### 県内の在留外国人の状況②



国籍別では、ベトナムが2019年以降、中国を抜き最多となっています。ベトナムは過去4年半で1.5倍に増加しています。



在留資格別では、技能実習が全体の4分の1を占めています。技術・人文知識・国際業務や特定技能は増加傾向にあります。



市町村別では、岡山市と倉敷市の両市で全体の約7割を占めています。

# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

## 2

### これまでの取組について

#### 岡山国際交流センター指定管理事業

- ・日本語講座の開催
- ・日本語ボランティアスキルアップ事業
- ・やさしい日本語研修事業
- ・子ども日本語学習サポーター事業
- ・日本語学習支援等事業(リソースコーナー)
- ・日本語教室開設・活動支援事業

#### 地域日本語教育の現状把握等事業

- ・県内市町村や日本語教室関係者、  
学習者等へのアンケート調査・ヒアリング
- ・先進地域の視察(山口県・兵庫県)

日本語教育に関する現状や課題の把握・整理と  
それらを踏まえた日本語教育推進施策の検討

### 日本語学習者の声

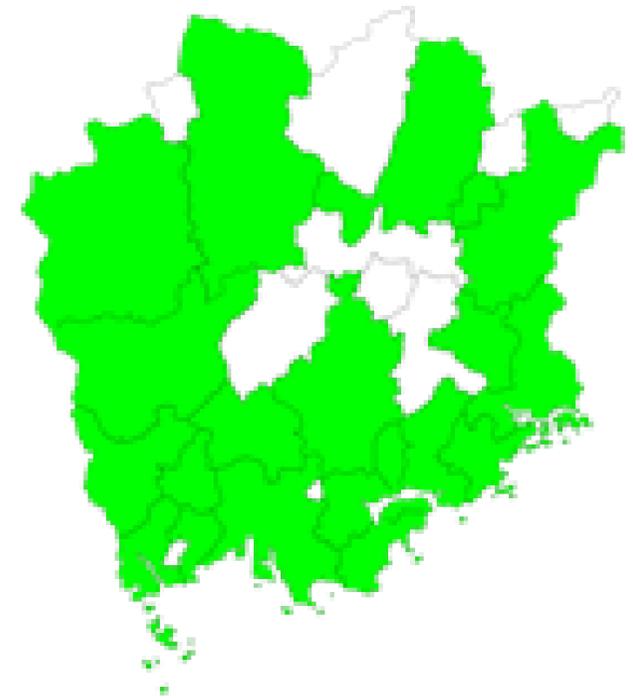
- ・日本語を学ぶ理由としては、「日本で生活するため」という回答が最も多い
- ・日本語の勉強以外に、「日本の文化を知ることができる」、「友達ができる」、「情報を知ることができる」、「地域の人と知り合いになれる」ことなどを日本語教室で期待している
- ・日本語講座を選ぶときには、曜日・時間が合うことや低額で受講できることが重要

### 日本語教室の声

- ・学習支援者の不足・高齢化、一人当たりの負担が大きい
- ・講師の研修機会が不足している
- ・他の教室と成功事例など情報交換する機会がない
- ・学習者が集まらない、続かない
- ・広報やPRで協力してほしい

### 市町村の声

- ・県内17市町村において40教室が設置・運営されている一方、10市町村が日本語教室のない空白地域となっている
- ・課題に感じていることについて、最多の回答は「支援者の不足」であり、他には「場所の偏り」、「学習者の交通手段」、「スキルやノウハウ不足」など
- ・県や県国際交流協会に求めることについて、「専門人材の派遣」、「研修会等の地域での開催」、「県内外の取組等の情報提供」、「財政補助や人材育成等の後方支援」など

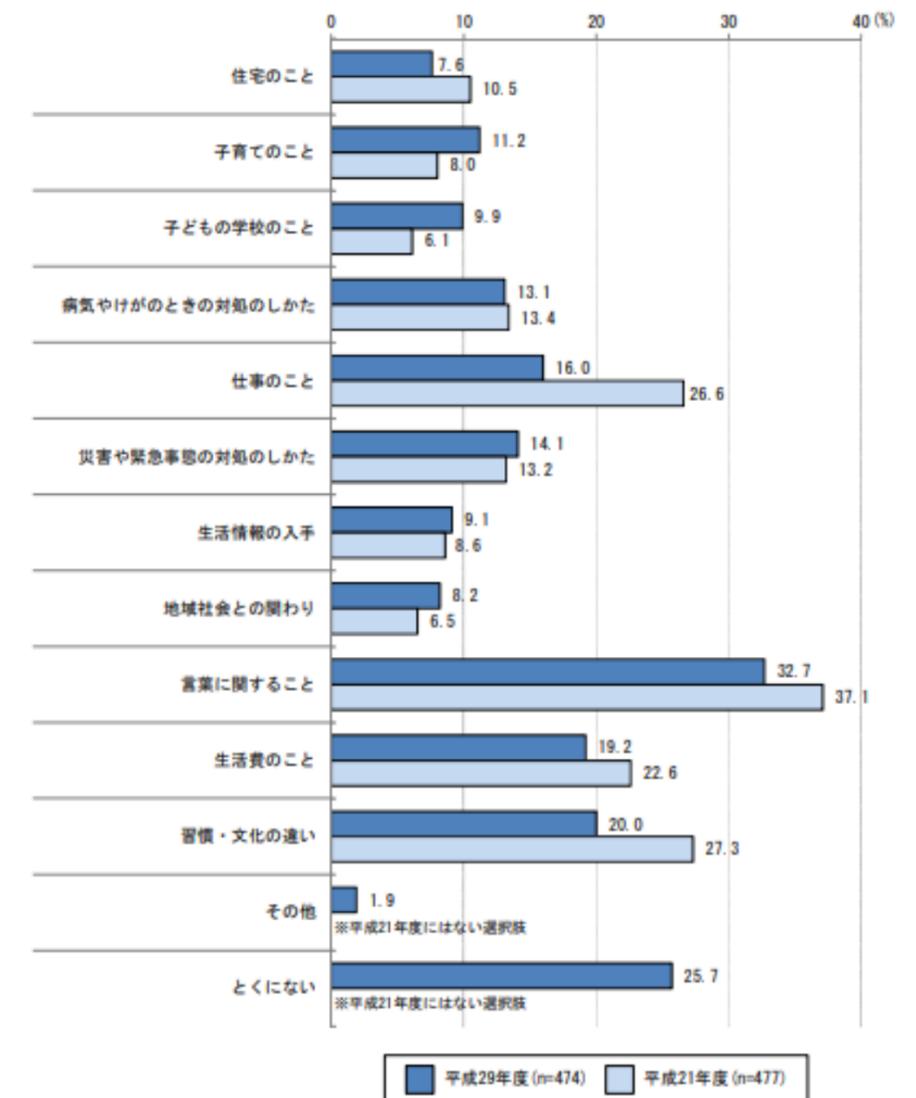


### 現状把握等事業で見えてきた問題点等

#### 在住外国人の声(平成29年度岡山県在住外国人生活状況調査)

- ・普段の生活での困りごとや不安なことでは、「言葉に関すること」(32.7%)が最も多く、次いで「習慣・文化の違い」(20.0%)、「生活費のこと」(19.2%)などの順となっている
- ・地域との間でのトラブルの原因については、「お互いに言葉が通じない」(29.9%)との回答が最多

【9-1 普段の生活での困りごとや不安なこと】



# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

2

## 岡山県の課題

1

地域の状況に応じた日本語教育を推進するための総合的な体制整備が必要

2

在住外国人の日本語学習の機会を確保するため、空白地域の解消に向けた取組が必要

3

地域日本語教育の活動を支援するための人材育成・教育実践・環境整備等が必要

3

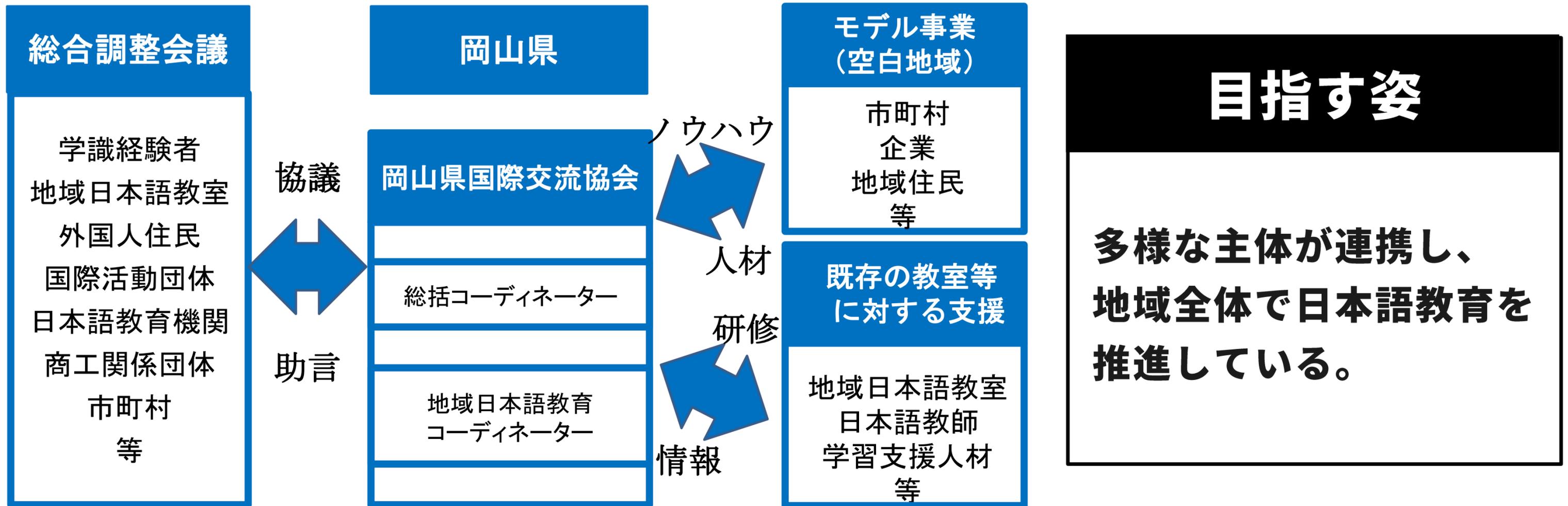
## 事業内容

# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

3

## 地域日本語教育の体制整備事業

### 1 地域の状況に応じた日本語教育を推進するための総合的な体制整備が必要

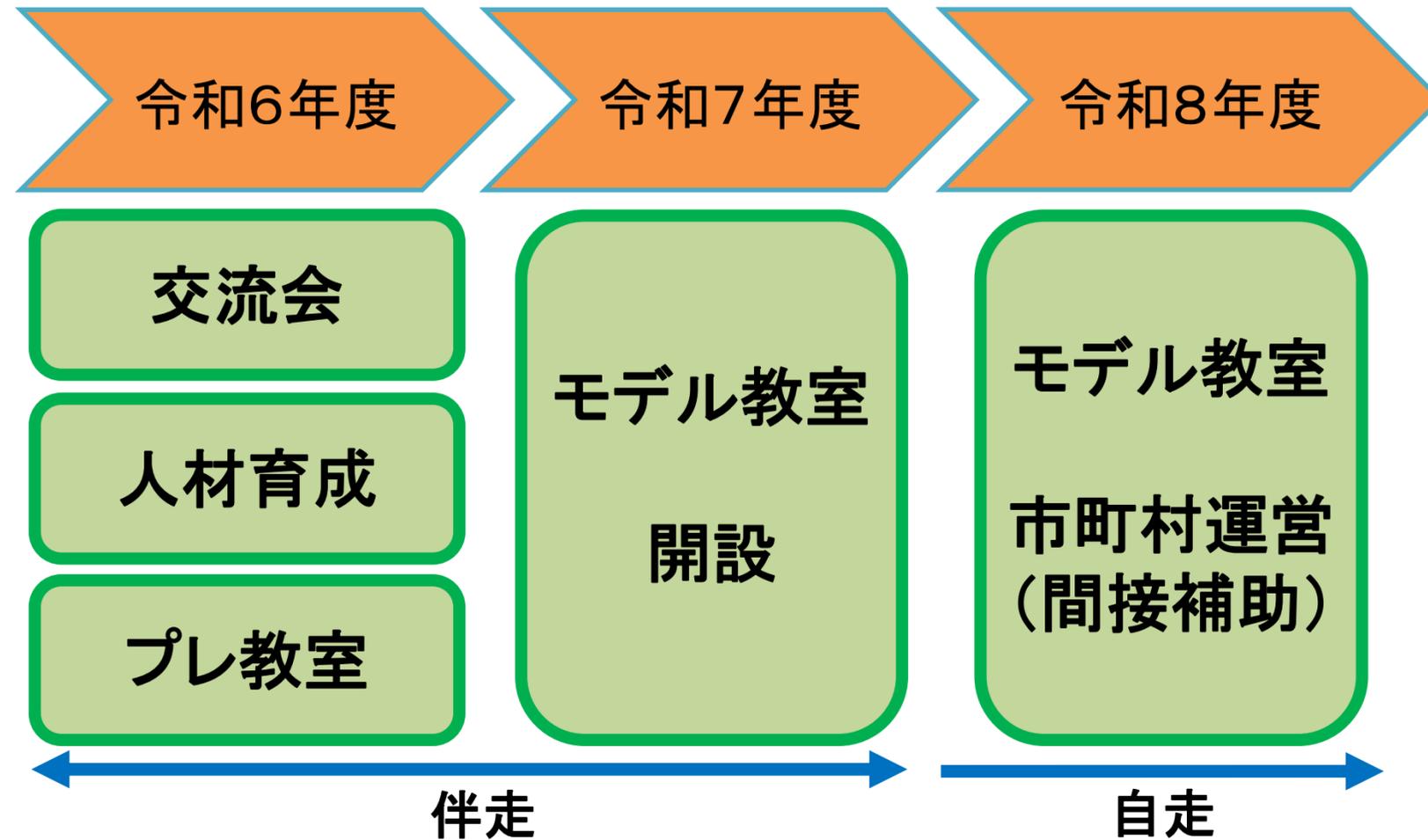


# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

3

## 日本語教室モデル事業

2 在住外国人の日本語学習の機会を確保するため、空白地域の解消に向けた取組が必要



### 目指す姿

誰もが身近な場所で生活に必要な日本語能力を習得できる。  
地域日本語教室が地域参加の入口やセーフティネットとして地域外国人支援の拠点となる。

# 岡山県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

3

## 日本語教育の推進（岡山国際交流センター指定管理事業）

3 地域日本語教育の活動を支援するための人材育成・教育実践・環境整備等が必要

### 人材育成

#### ○スキルアップ研修



### 教育実践

- ・仕事や子育てで時間がない
  - ・移動手段がない
- = 教室へ通うことが困難



#### ○オンライン日本語講座

### 環境整備

#### ○リソースコーナー



## 目指す姿

日本語教育の活動がそれぞれの地域で継続的かつ安定的に実践されている。

引き続き、岡山国際交流センターを中心として、県内日本語教育環境の強化に取り組む。